

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第8回 常任理事会

日時：2014年 8月 12日（水）19:00～21:00

場所：コンセーレ JCルーム

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(顧 問) :
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 黒川、澤畑、飯野
(担 当 常 任 理 事) : 金
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) : 太城
(協働連携特別会議議長) : 篠崎
(法令会計審査会議議長) : 廣田
(事 務 局 長) : 橋本

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCI クリード唱和 <橋本>
3. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 <太城>
4. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 <羽石>
5. 関東地区宣言唱和 <金>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事名 13 / 14 名
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

お休みに入っている方もいらっしゃると思いますが、常任理事会に多くの皆さまにお集まりいただき感謝申し上げます。そしてご設営いただきました総務委員会の皆さま、本当に今日もありがとうございます。感謝をしながら進めていきたいと思っております。

そして7月8月は怒涛の日々、JCの事業がかなり多い時期でありました。一つの山を乗り越えていただきまして本当にありがとうございます。宮まつりも細かいことはありましたが無事に終わりました。そして同じ日にわんぱく相撲全国大会でも子どもたちが素晴し

い成績を収めたということで、喜ばしく思っております。また出向者の人たちの活躍も目覚ましく、サマーコンファレンスでもそうでありました。国際の委員長の赤松君、金常任も含めてですが、エリア会議とGPSもきっちり終わりました、素晴らしい大会だったと報告を受けており、世界のJCの運動として確かな結果を毎年着実にだしていると思っております。

そしてメーリングでも流れており、ご配慮いただいているところですが、いよいよ次年度が動き出したところでもあります。毎年次年度のことになるといろいろな噂が耳に入ってくるのですが、今年は私の耳にはまったく入ってきません。これも須山次年度のご配慮で、お気遣いいただいていることに感謝をしておりますし、9月ぐらいから本格化してくると思いますが、本当に私も期待していますし、直前理事長という立場でしっかりとサポートしていきたいと思っております。

今日お話ししたいことはですね、ここにまさかいるとは思いませんでしたが、フェイスブックにプロセスと結果のお話を投稿されているメンバーがいて、仕事においてしっかりとプロセスを持ち、結果を出す。仕事だから結果を出すのは当然ですが、それは社員に感謝をしているということで、ボランティアではプロセスだけが求められると書かれていました。改めてその投稿をみて大切だなと感じたところでもあります。ただ、結果を求めるに対してプロセスを求めるのはとても大切です。JCはボランティアだけの団体ではありませんし、JCにおいてもプロセスが非常に大切で、だから我々は日々会議を重ねているのかなと思います。同じような話で、ニュースでみた話を少しさせていただくと、気仙沼でビジネスを成功させた人の話を取り上げられていました。震災以降気仙沼で仕事がなくなってしまったということで、その地域に目を向けたところ漁師の奥様が日常的に編みものをされているというところに目を付けました。それを仕事にすればいいではないかということで成功させた人の話です。結果それは気仙沼の人たちに仕事を与えているという情熱です。その人たちの持っているスキル、編みものを考え、人手がかかるので1着15万円で売らなくてはいけない。それであれば最高級のものを作ろうと、素材から世界一のものを作ろうとプロセスから突き詰めていった結果、1着15万円のセーターを販売して大成功した企業があるというお話でありました。結果からプロセスを深堀していくというところでもあります。先日、橋本事務局長が拡大の公開委員会でお話をされていましたが、ただラッキーの成功というのはただのラッキーでしかない。仕事にしてもそうですけれど、常に結果を出していくには背景だったり、目的だったりするのがビジネスでは大切です。再現性ができるスキルを身に着けることがビジネスでは必要不可欠であるというお話をされてきました。これはJCでももちろんそうです。やはり公益社団法人として我々は事業を作っているわけであります。結果が出ないとやっている意味が100%ないとはいませんが、結果を求めていく姿勢は必要だと思います。そのためにプロセス・過程を突き詰めて、背景・目的を突き詰めて目標を達成するための最大限の努力を常任理事会メンバー中心に考えていくことこそが事業成功に導くのだと思いますし、なにより我々は委員会のメンバーをお預かりしている立場です。委員長をはじめ委員会のすべてのメンバーがJCをとおして結果を出すことで成功体験をしていただきたいと思っておりますし、社会に貢献する喜びをメンバー全員に感じてほしいと思っております。

結びになりますが、今年これから年末までにやらなくてはならない大きな柱が間違いなく拡大であります。先日正副のメンバーで話し合いをしまして、各会議・委員会にある程度の人数の動員をお願いしていこうということになりました。常任理事会構成メンバーを中心に是非ご協力いただきたいと思いますし、頑張ってきてくれたメンバーは我々全員がしっかりとサポートをする、フォローをする。JCとしての魅力・意味・楽しさを我々がしっかりとビジターに伝えていかないと拡大も成功しませんし、宇都宮の市民運動が広がっていかないので、ここも含めてここにいらっしゃるメンバーには度重なるお願いになりますが、これからさらに力を入れてきたいと思っておりますのでご協力お願いいたします。

11. 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1 2. 役員報告

- <太城> 先ほど理事長のご挨拶にもありましたが、ビジターの動員お願い致します。
- <羽石> 昨日渉外委員会さんから今後のスケジュールの連絡がありましたが、時間等の具体的な情報がなく、ただ参加しますか、参加しませんかという問い合わせがありました。スケジュールの情報の伝達をもう少し詰めてください。メンバーのスケジュールもありますので宜しくお願いします。
- <中島(崇)> 事務局のお盆休みの案内です。8月13日に関しては通常の休みで、14日、15日はお盆休みになります。加えて16日、17日は土曜、日曜で通常の休みとなります。産業会館は13日から15日は通常どおり開館していますので、入室されたい方は私の方まで連絡をして入室してください。
- <金> 8月23日のだてに恋鯉プロジェクトに関してですが、再度詳細の方を事務局長に流し、事務局長からご連絡をさせていただきます。
- <中島(崇)> こちらに関しては当初バスを出すか検討していたのですが、バスは出さずに乗合で行くということになりました。続いて8月24日関東地区からの要請もあり、福島ブロック大会でのたからいちに宇都宮JCとして餃子のブースを出展させていただくことになりました。ブースの出店なので渉外委員会で対応いたしますが、お手伝いできる方はご協力お願いします。8月27日の理事会開会后に、今年度は林常任と佐藤君が出向しております栃木ブロックの栃木フォーラム委員会より、栃木フォーラムのPRがございまして。15分くらいお時間を頂戴したいとのことなので宜しくお願いします。8月28日の小畑直前会頭講演会ですが、詳細につきましては改めてメーリングで流しますが、コンセーレ大ホールにて19時30分開会となりますので宜しくお願いします。対内向けの事業になりますが、栃木ブロック内の会員会議所に案内文を発送させていただきます。こちらに関しては、先ほど理事長からもお話がございましたが、各会義・委員会2名以上のビジターを是非お連れください。8月29日に日本JC国際グループ会議が宇都宮で開かれます。こちらに関して金総括何かございますか。
- <金> 1時よりコンセーレにてグループ会議を行います。特にメンバーの皆さまには大きくサポートしていただくことはありません。会議があるということだけ認識していただければと思います。
- <中島(崇)> 8月31日の栃木フォーラム2014ですが佐野にて行われます。

1 3. 協議事項

- 協-01 5月例会 わんぱく相撲うつのみや場所開催報告並びに決算(案)について
協議資料に基づき、相馬委員長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>議案上程スケジュールの常任理事会の日程が1日ずれているので修正をお願いします。県提出用の事業報告書になりますが、参考資料から審議対象資料へ移動をしてください。

<金> 今回はじめてボランティアに参加していただきましたが、参加していただいた感想ありますか。

<相馬> ボランティアからご挨拶いただいた時のご意見を反映させていただいております。

<金> 是非来年もボランティアさんに参加していただいた方が可能性も高くなりますので、引継ぎいただければと思います。

<太城> アンケート結果ですが、よかったが99%だったので満足するには十分ですが、今後を考えると残りのよくなかった1%の意見を、なぜよくなかったか掘り下げることができればよかったと思います。

<中島(崇)>メンバー配布用に用意したポスターを余らせてしまったようですが、150枚必要なのでしょうか。

<相馬> わんぱく相撲を広げていくためには、150枚必要だと思います。メンバーだけで配っていくのに少し負担もかかる部分がございます、余らせてしまったのですが、もう少しJCメンバーに協力していただいて告知をしていくべきだと思います。

<村上> 所見の部分で引継ぎとか事業の検証が書かれているのですが、事業の感想的な内容が多いので、できれば運動論の話を書いてください。わんぱく相撲はすごく難しいと思います。JCは運動体であり、その中で市民運動を進めていくには、大会になっているので限度があります。その範囲のなかでやるのはすごく難しいのはわかるのですが、青少年を育成する、未来の人材を育成するということをやっている事業ですので、それをいかに広げていくかが地域にとって素晴らしいことなのです。それがJCとしての運動論のロジックであれば、ポスターとかの告知で広げていかなければいけないということも1点ありますが、運動の本質を考えると参加者や、一緒に来てくれた人から広がっていくのが理想です。そのような観点でも何か来年の担当委員会にアドバイスなるようなことを盛り込んでいただきたいと思います。わんぱく相撲を来年以降より広がりを持たせられるようなことを所見に書いていただきたいと思います。

協-02 6月例会 ASPAC山形大会例会開催報告並びに決算(案)について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>上程スケジュールの常任理事会の日程がずれているので修正してください。

<羽石> ASPACに行けなかったメンバーに学んできたことを、伝える仕組みがあってもよかったのかなと思います。

- <金> ガイダンスですが、参加員数計画にいたらなかったと書いてあるのですが、その検証について、ばたばたで直前に日程が決まったり、そういったところが参加員数に達しなかった部分ではないかと思います。
- <橋本> 議案上程の計画の時から重々感じております。そこが1番の問題と感じております。次回の理事会までにしっかりと記入させていただきます。
- <村上> 所見があんまり所見になってない感じがしますのでここも書き直してください。

協-03 6月事業 全国大会関連事業開催報告並びに決算（案）について

協議資料に基づき、羽石議長より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 誤字等、再度理事会までにご確認ください。
- <橋本> 二荒山神社の宮司さんの時に、J Cメンバーだけで聞く形になってしまったので、なぜその順番にしてしまったのかも検討してもよかったですのではないのでしょうか。
- <羽石> 時間帯に関しましては、ブ렉シーさんが1番集客できるのではないかと思います。そのようにしました。また、ブ렉シーさんの後に記念撮影を入れてしまい時間がばたばたしてしまいました。それとブ렉クスさんからの好意で、新メンバーのサイン会を同時刻でしていただき、結果そちらに流れてしまいました。そういったことを次回以降引継ぎしていきたいと思います。イレギュラーを前もって想定できる範囲で想定し、出店していただくブースと打ち合わせをしていきたいと思います。
- <福田(之)> 事業目的に達した点というのはあくまで対外的目的に対してだと思います。対外的目的と対内的目的と目的は2つあるのでもう少し細かくお願いします。
- <飯野> 財政審査がこれからなので意見ということになりますが、ユニセフの領収書がJ Cから払いましたという形で残っています。決算書にはどこにも出てきていないので、領収書がある以上決算書に表示しておくべきだと思います。仮に私でしたら預かり金収入で、観客の方からの預かり金支出としてユニセフ側に払ったとする方が適切だと思うので、廣田議長と相談のうえ処理してください。
- <太城> メンバーが手を持って余っていたので、手が空いたメンバーをどのようにするかを考えた方がよいのではないのでしょうか。
- <村上> ナッシングバットネットの正式名所はJ C I ナッシングバットネットです。この前の県の立ち合い検査で指摘されたのは、公益事業に対しても議案の決算報告が内向きなのです。そこを指摘されました。書き方次第だと思います。たとえばよりよい宇都宮の実現をめざすJ C運動も置き換えられますよね。市民のためにやっているのですからそのような表現にしていくのがこれから必要なのかなと率直に感じます。この事業自体全国大会をめざすのは関係ないです。

会議体事態の目的の中でこの事業があります。この事業単体で考えると全国大会は別の話で、そこら辺をうまく考えて表現を変えていただきたいと思います。

協-04 10月例会 心のふれあい事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、金常任より上程文の読み上げ。

- <中島(崇)> 合同常任についてですが、オブザーブ可能な方たちになっていますが、どのくらいの人数が可能なのか反映させてください。その際のドレスコードをどうするか、宇都宮のルールであればスーツであります。だてさんがいることですのでどのようなドレスコードで行くのかあらかじめすり合わせして決めてください。資料のお礼状ですが、謹啓・謹白ではなく謹啓・敬白にしていますので訂正してください。また結び後の縦で書く場合の位置がおかしいので修正してください。だてさんと共同でやりますので、お礼状に関しましても名前に関しまして木幡理事長と村上理事長の連盟で書いた方がこの場合適正ですので訂正してください。令状の書き方がわからないときは、11月例会の方はフォーマットを使っていますので参考にしてください。それと協力依頼書ですが、フェスティバルの中身が書いていないので記載をしてください。
- <太城> だてJCには常任理事がないのですが、そのすみわけはどうするのでしょうか。理事が行ってオブザーバーになるのはどうなのかと思います。
- <金> だてJCさんには常任理事はありませんが、それに準じた方に参加してもらおうと考えております。だてJCさんに我々の出るメンバーを伝え、人選に関しましては振ろうかと考えております。オブザーバーに関しては、基本的にどなたでもオブザーブできるようにと考えております。人数やドレスコードは考えていきたいと思っております。
- <太城> 無理に常任理事会にすることはいいのではないのでしょうか。合同理事会でいいのではないのでしょうか。
- <金> 人選については委員会内で再度精査していきたいと思っております。
- <太城> ビジターを呼べるようにと、意見と対応に被災地視察と書いてありますが、今まで拡大をやってきた経験上、遠い場所に行くのは敬遠されます。そのあたりの対応はどうしますか。
- <金> 今回の特徴として、被災地の視察になりますので、そのあたりに興味がある方などに動機の一つになるのではないかと考えております。他にも翌日の事業に関しまして、よりわかりやすくビジターや参加者に説明できるように委員会から働きかけます。もしくは拡大会議にお伝えできるよう考えております。
- <中島(崇)> ビジター案内文ですが、被災地視察に行きますとの記載を是非入れてください。
- <金> 再度精査いたします。
- <羽石> バスの利用と書いてありますが、バスはビジターと一般の方対象でしょうか。

- <金> メンバーも利用できるようにと考えております。事前にバスの利用がどのくらい必要なかで検討いたします。また予算上の問題が出ていますので、出したいとは思いますが、ぎりぎりまで予算のやり取りをしているところです。
- <太城> 5日からしか時間が取れない人もいると思います。その方々たちにも被災地視察を考えていただけますか。
- <金> 時間的な問題で難しいですが、仮にやるとしたら、行きか帰りの際に場所を伝えて各自で行っていただきます。
- <須山> 意見と対応の17番ですが、源泉徴収は相手先が支払いますとなっておりますがそれは可能なのですか。
- <金> 源泉につきましては、相手方が負担すると聞いております。
- <須山> 法令会計と相談ください。
- <橋本> 意見と対応ですが、全体的に出た意見の意図と対応がずれている気がします。たとえば15番ですが、子どもの村の画像をもっと載せてほしいと記載されていますが、議案に画像を実際に載せ、どのような場所だか知った方がより深く理解できるのではないかという意味での意見だったと思います。それと肥満率の資料がたいして変わっていないので、もっと数値に変動があるものを用意してくださいとありますが、こういった質問はなかった気がします。肥満率の1～2%の変動は児童の身体にはとても深刻な問題であり、となっておりますが深刻な問題であれば議案本文に載せるべきではないでしょうか。深刻だから載せたのでしょうか、なぜ載せたのかをその場所に書かれていないと議案の意味がなさないと感じました。
- <金> 私の方で確認し再度修正いたします。
- <太城> 宇都宮J Cは警備等が仕事になりますが、最低どのくらいの人数が必要で、警備をしない人たちは何をすればよいですか。
- <金> 参考資料の6番の委員会スケジュールを参照してください。警備の担当も書かれていて、警備以外にも様々なアトラクションブースの手伝い等々記載されています。具体的な内容が出てきてから詳細は記載します。警備の人数は多ければ多い方がいいと思います。
- <太城> このスケジュールに名前が入っている方は行けるということでしょうか。
- <金> 当日人選を変更する場合があります。
- <村上> 気になるのが誤字や紙資料がだと思えます。切れていたり枠にはいってなかったりと、順番も違うしシナリオもできていません。先ほどのプロセスの話ではないですが、少しずつの積み重ねなのです。ですから是非完璧にしていないと怖いです。そこをしっかりと指導してください。1点なのですが、ビジターもそうですし本来の趣旨を考えるとメディアの使い方はどう考えていますか。たとえばビジターの人もそうですし、市民の方や今回NPO法人の方も絡みますので、その人たちの中から被災地視察に行きたいという人たちがいるかもしれ

ません。その人たちがJ Cの事業に共感して入ってくるかもしれません。1番は告知です。下野新聞が1番強いです。地元ですからうまく使い方を考えた方がいいのではないのでしょうか。たとえばまちなか支局の田中支局長と一緒に連れて行ってしまうとかいいと思います。宇都宮市民や宇都宮J Cが被災地支援に行ったというのはよい話だと思います。画期的になる可能性がある事業だと思います。宇都宮と伊達が災害時の総合対策をこの事業で締結するわけですから、社会的意味がすごくあります。これが発展していくと宇都宮市と伊達市、ひいては栃木県と福島県の体制が広がっていく可能性のある事業だと思いますので、もう少し広い視野で捉えていくと、すごく大きな影響がでる事業になるのでそこまでみ据えてお願いします。

協-05 11月例会 まちづくり事業開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、中島委員長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> 参考資料の14番のタイムスケジュールが付いていますが、15番のNPO団体参加依頼先計画リストがついていますので、添付しなおしてください。

<金> タイムスケジュールをこの順番にした意図をお聞きかせください。

<中島(一)> 11時30分からフォーラムの受付と参加団体のブースの展示ですが、開会前に展示をして早く来た来場者の方にブースの内容を見学してもらいます。1時からフォーラムが開始されますが、来場者を呼びやすいという内容というところでスイーツによる交流があります。その前にプレゼンテーションをもってきて、その中で多くの来場者にプレゼンテーションを聞いていただいた上で、スイーツの交流に入っていきたいと思います。そのスイーツの配布をプレゼンテーションが終わり次第と考えております。これにつきましてはプレゼンを聞くために1時までに来ていただいた来場者にはフリーパスを配布しまして、2時になりましたら各ブースでスイーツを食べていただきます。プレゼンの時間に間に合わない方や、聞けない方にはスタンプ券を配布しまして、ブースでパネルをみていただいた方にスタンプを押し、スイーツを食べてもらう。どちらにしてもまちづくりを体験していただいて、その後にスイーツのティータイムをとっていただき、その後トークショウを聞いてもらおうと考えております。

<太城> 自治会さんが、エントリーしてプレゼンすると思いますが、僕のイメージだと自治会は地域の掃除ぐらいしかしていない印象なのですが、本当にプレゼンテーションするだけの価値のある活動をしているのでしょうか。例を挙げただけかかないといけないのではないのでしょうか。仮にエントリーして恥さらしにあらう可能性もあるので、やるのであればこちらから受動的に人前に出すだけのレベルにしないと逆効果になってしまうと思います。

<橋本> スイーツを配ることとまちづくりがどうしてもうまくリンクできないのですが、詳しく説明してください。

<中島(一)> 関連性ですが、まずはまちづくりや地域に対して無関心な層の市民を集めたいと思いました。そこには若い世代が多いのではないかと考えました。その中で子育て世代のお母様方のネットワークを活用し、お母様やお子さんはスイーツに関心があるということで、フォーラムに来ていただきやすいという環境を作

るというところを選びました。また地元のお菓子屋さんに協賛をいただくことで、自治会・NPO・企業・市民の皆さんがいるところで交流を図っていただき、地域を活性化してほしいと思いました。

<橋本> いろんな世代に来ていただきたい手法だと感じるのですが、その場合告知の時に最大限にスイーツを打ち出すのかなと思います。だとしたらスイーツ事業にした方がよいのではないのでしょうか。たとえば高林堂さんとか宇都宮だけに特化したものでまちづくりをするのであればなんとなくリンクをするのですが、政策委員会がするまちづくりでスイーツを前面に出すのは腑に落ちないので、そのあたりを教えてください。

<中島(一)> 政策と関わりにくいとのご意見を頂戴しましたが、幅広い市民をこの例会事業にどうしても集めたい思いがありまして、関連性でスイーツイコールまちづくりとはなかなか結びつけられませんが、スイーツイコール若い世代ととらえていただければなと思います。

<太城> 簡単にいうと餌で釣るという意味ですよね。それで来るならいいと思いますが、こじつけの仕方が甘いと思います。

<須山> 私がこの事業に来るビジターさんとして、30秒くらいで伝えてください。

<中島(一)> この事業をとおしてまちづくりに興味がある自治会さん、NPO、企業、また、それを研究している学生さんの活動の発表の場であり、一般市民の皆さんに聞いていただき、自分たちも取り組めるもの、地域で活かせるものと考えております。

<須山> たくさん盛り込みすぎてしまっているの、何がメインなのかが聞きかかったのです。今の意見を聞いて自治会・NPO・一般の方々のプレゼンがメインと考えているのならば、それを色濃く出さなくてはいけなくて、それがメインになるのであればそこにダニエルカールをどう絡めるのかと、スイーツをどのように活用するのか、お金の書き方をみるとダニエルカールに予算がかかっています。人を呼び寄せる手法ですからいいのですが、それに対し委員長がいったことからはみがかく感じるの、そこを色濃く出していけばいいと思います。

<金> 参考資料の20番ですが、打ち合わせを7月22日からやっていますがどのような状況でしょうか。

<中島(一)> 自治会連合会との事業説明といたしまして、連合会長を交えまして連合会長とみんなのまちづくり課、委員会メンバーとで三者対談をさせていただきました。こちらにつきましてはアワードについてお話しさせていただきました。反応につきましては、連合会長は自治会・企業・NPOなどの団体が一つに集まってやる事業というものが今までにないものなので難しいが、いい方向に進みそうだとおっしゃっていました。8月1日にはまちづくりセンターのセンター長とお話させていただきました。こちらについては、その場でアワードもいければ、各団体にメリットにつながるほうがいいのではないかとのお言葉をいただいたので、内容を修正変更いたしました。8月6日に自治会連合会の三役会で説明をさせていただきました。いい方向で行きそうだといういろいろご意見とご理解をいただきました。プレゼンの内容として広い意味で助けあいの活動の方針があるので、助けあいのテーマでおこなってほしいといわれました。今後のスケ

ジュールとしては8月18日に自治会の理事会で事業の説明をさせていただきます。9月上旬に5ブロックのブロック会議があります。中旬ごろに参加自治会の選定をおこなっていきたくて考えております。

- <金> 再度検討していただきたいことがあります。パネル展示やプレゼンが本当に自治会さんが求めているものなのか、市民が本当に求めているものなのかを考えていただきたいし、この目的に達するための手法として、パネル展示やプレゼンにずっとこだわっているのはわかりますが、他にもマッチしているものがあると思いますので、委員会で検討していただくのと、自治会さんとすり合わせをしていただきたいと思います。
- <羽石> 参加依頼書・参加申込書等を付けなくていいのですか。理事長の名前をもって正式にお願いするべきだと思います。協賛をいただいていますので、協賛していただいた人にPRをさせてあげた方がいいのではないのでしょうか。
- <小瀧> このMCのメグさんは適任でしょうか。このお題をある程度理解していた方が内容に沿っていけるとと思います。
- <中島(一)> モデル業や司会業を行っていきまして、本日面談をさせていただき一生懸命頑張るとおっしゃっていましたが、こちらとしてもシナリオ等で対応していかなければならないと思います。雰囲気等も堅苦しくなく、和やかに参加者に参加していただけたらと思います。
- <小瀧> 和やかとおちゃらけは紙一重なので気を付けてください。
- <太城> MCの方は、固い設えの時にMCが話を掘り起こしていかなければなりませんので、そのような実績があると皆さん納得すると思います。ビジターを22名も計画していただきとても心強いのですが11月なので初ビジターが来ても年内入会はありません。次につなげるという意味ではいいと思いますが、今年にもつなげていただけたらと助かります。
- <金> タイムスケジュールをみて1時にステージ前にたくさんの方がいるイメージがまったく持てません。動機付けが薄い感じがします。逆にダニエルさんは聞いてみたいと思いますので、ダニエルさんも絡めるような設えに変えればもっと聞く人・みる人が増えるのではないかと思います。
- <中島(崇)> 予算書ですが参加団体記念品で梨を15箱計上していますが、これを誰にあげるのかを議案に記載してください。記念品なのでなぜ梨になったのかを検討してください。
- <村上> スイーツの件ですが、スイーツでは人は来ないです。食べ放題とかなら来るでしょうが。つながりを作っていく上でのツールとして生きてくるのだと思います。そこは上手い使い方を、交流を深められるツールとして活用してください。フォーラムとはどういう意味ですか。
- <中島(一)> 多くの人が集まる場です。
- <村上> フォーラムと調べると、公開討論会という意味です。整理してほしいのは、フォーラムがやりたいのか、サミットがやりたいのか、シンポジウムがやりたいのか、それによって落としどころが変わってきます。先ほどの議案もそうで

したが、これも可能性を秘めている事業だと思います。まちづくりに関わっている団体・人を一挙に集めそこでつながりを作るのですよね。ですのすごく可能性があるとします。テーマが助けあいになっていますが、これは共助から拾っているのですか、所信に支援活動から共助を挙げていますが、ことまちづくりに関しては当事者意識・自分たちのまちは自分たちで作るという、無関心を変えていきたいというのが今年の軸なので、それを考えたときにプレゼンテーションのお題一つで僕らの運動の意図を伝えることができますし、お題を与えることによって、考えてもらえますよね。これも立派な運動になると思います。そのテーマの設定一つで広がりが変わってくると思いますので、最大限に活用してください。最終的な落としどころがまだみえていないので、ダニエルさんMCさんをうまく活用してください。今の段階だとプレゼンしました、終わりました、スイーツ配りましたで、みたい人はパネルみて、講演会聞いて、はい終わりじゃ人がつながりません。もうひと工夫だと思っています。パーツパーツは揃いだしているの、仕掛けであったり、テーマ一つで大きくなります。うまくやれば宇都宮は変わりますよ。

協-06 その他

なし

14. 報告事項

報-01 対外出向者について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-02 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)>ご一読ください。

報-03 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)>ご一読ください。

報-04 会費納入状況について

<中島(崇)>まだ納入されていないメンバーにラインからも再度お声がけください。

報-05 特別会員入金状況について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-06 例会出欠報告について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-07 職務執行報告について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-08 立入検査の報告について

<中島(一)>ご指摘をいただいている項目を列記しております。多数ございますので内容をご確認ください。細かい点でもご指摘いただいています。来年は現状では立入検査はないということです。

報-09 次回開催について

<中島(崇)>9月10日(水)19:00～ コンセーレ J Cルームにて開催。

15. 監事講評

<飯野>

お疲れ様です。まずは本日常任理事会をご設営された渉外委員会の皆さま総務委員会の皆さまお疲れ様でした。

今月が終わりますと、予定者を含めましてちょうど12ヶ月がたちます。皆さんちょうど12ヶ月たちましたがどうでしょうか。12ヶ月と考えますと16か月の内の12か月なので、4分の3が終わったタイミングになります。残り4分の1だと思いがちですが、たとえば事業予算を考えますと、大体事業全体にかかっている予算がざっくり1500万ぐらいなのです。そのうち宮まつり例会だけ寄付金が650万ぐらい入る例会ですので別格ですが、それを除きまして、事業予算を消化しているのは何パーセントだと思いますか。ざっと計算すると35から36パーセントなのです。予算的には6割以上残っている段階です。もちろん予算規模が事業の重要性ではないですが、大きさとしてはまだまだ半分も終わっていない段階であります。ですのでしっかり常任理事会の皆さまにはご理解いただければと思います。

冒頭で理事長より結果とプロセスのお話がございました。私もよくよく感じるところであります。JCは結果の検証というところは非常に大切だと感じております。当然事業の報告がこれからあがってくるとは思いますが、お願いしたいのが、12月の最後の理事会でたくさん入ってくるようなことは避けてください。どうしても12月の最後の理事会で議案数が多くなると事業の検証が疎かになってくるかと思えます。先ほど中島専務より県の立ち入り検査にもありましたが、これからますます結果の検証がとて重要になってくるところでございますので、結果の検証をしっかりとするという意味で、これから出てくる案件は本当に12月に固まらないよう、常任理事会の皆さまで、委員長を導いていただけたらと思います。

無茶をするJCですが、さすがにお盆休みは公式行事がないと思いますので、このお盆休みでしっかりと英気を養っていただいて体調を整えていただいて、

是非お盆明け後、残り期間的に4分の1ですが、濃い濃い4分の1となりますので、しっかりと皆様の役割を果たしていただければと思います。

16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第8回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会